



百二十余年の歴史に幕

閉校にあたって

間瀬小学校長 馬場 喜八 さん



地域の文化と輝かしい伝統を築き多くの人材を送り出してきた間瀬小学校も、平成8年3月末をもって122年の歴史の幕を今、静かに閉じようとしています。

明治・大正・昭和・平成の4つの激動の時代を乗り越え、教育の灯を燃やし続けてきた地区民の、教育に寄せる熱い思いが、沿革史やアルバムの端々から伝わってきます。時代の流れにより家屋数は減少し、児童数も年々減少してきたものの、現在37名の児童は、大規模校に負けないほど大きく豊かな心を持って、のびのびと楽しく学校生活を送っております。

PTAを始め、区長さんを中心とした地区の皆さんが、学校に対して尽力してくれました。勉強はもちろんのこと、数々の学校行事は、生涯忘れることのできない思い出として心に残ると思います。学校を預かる者として、こんなに心強かったことはありません。

最後に、児童が統合先の岩室小学校で実力を発揮し、大きく羽ばたいて健やかに成長することを祈念いたします。

間瀬小学校が岩室小学校と統合

統合までの経緯

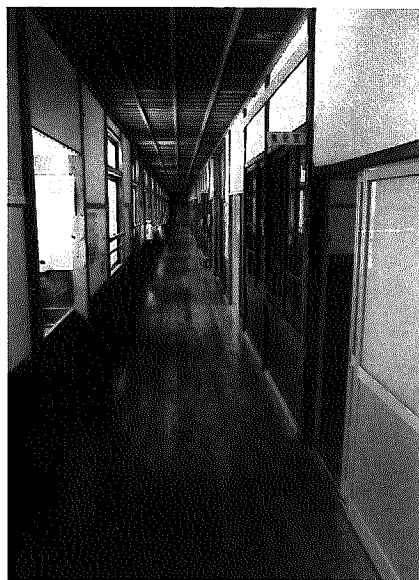
明治六年に創立された「間瀬小学校」は、百二十有余年にわたり地域の中心として、数多くの人材を世に送りだしてきました。

この間、児童数の変遷は著しく、昭和二十五年の四百四十二名を頂点として減少に転じ、昭和四十四年度には百名を割るに至りました。こうした児童数の減少並びに校舎の

明治六年九月十五日、蒲原郡峰岡第三番小学校峰岡校の付属校として創設された間瀬小学校は、この三月をもってその大任を終え、百二十余年に及ぶ歴史に幕を閉じようとしています。

この間、明治四十年には現在の校舎が新築され、これまでに、同校から五千有余人の卒業生が巣立っていききました。そして、今月十六日には閉校記念式典及び記念碑除幕式、それに惜別の会が行われ、二十二日には同校最後の卒業式が行われます。

そこで、今号の広報では、間瀬小学校が岩室小学校と統合するに至った経緯や同校の歴史、そして最後の在校児童三十七人の感想などを特集してみました。



老朽化等のため、昭和五十年代のなかば頃より、「岩室小学校」との統合問題が浮上してきました。そして、昭和六十年の三月議会において出されたこの問題についての一般質問に対して、当時の金子村長は「基本的には、間瀬小学校と岩室小学校は統合していただきたい。少なくとも六十五年度までには着手したい」と答弁されています。その後も、議会総務文教委員会や教育委員会でも何度か検討されました。そして、平成二年三月発行の『岩室村第三次総合開発計画』では、さらに進む児童数の減少・複式学級化を見越して、第二次計画では間瀬小学校の改築案と統合案の二本立てであったものを統合案に一本化しました。その後、村議会においても、統合の方向で承認されました。その際、田中昭吾議員から「地域住民の理解を得るため、入念な手続きを」との要望が出されました。その結果、平成三年度より区長会や保護者会、地区全体への説明会を通して、統合について理解・協力をお願いしてきましたが、一部に反対の意見も強く、なかなか実現には至りませんでした。

新しい学校でもがんばって

「お別れもちつき大会」でも大活躍された、寿学級長の二瓶守さん。「入学当時は、グランドが砂浜だった」と、懐かしそうに話してくれました。



二瓶 守さん (間瀬1区・84歳)

そして、「新しい学校に行っても、大勢の友達と仲良くし、勉強もがんばってください」と、子供たちに励ましの言葉を送られました。

言葉ではうまく言い表わせない寂しさが

間瀬小学校の前で商売をしながら、70年間子供たちの成長を見守り続けてきた宝力マイさん。



宝力 マイさん (間瀬7区・88歳)

「昨年95歳で亡くなった夫が三年生のときに、八幡神社の境内から現在の学校に越してきたと言っていた」と当時の様子を話してくれました。

また、「間瀬には役場や中学がなくなり、医者もいなくなった。そして今度は小学校も……。この気持ちは、言葉ではうまく言い表せない」とも話していました。



閉校を前に間瀬小の児童と寿学級生が…

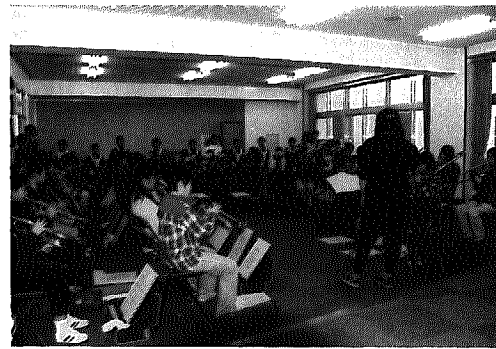
先月六日、閉校まであとわずかとなった間瀬小学校では、同校の全児童と寿学級生三十人が、「お別れもちつき

大会」を行い、残り少なくなった思い出のノートに、新たな一ページを付け加えました。

当日は、最初に寿学級生が古い校歌を、児童が新しい校歌を歌って歌の交歓会を行いました。そして、もちつき会場の準備が整うと、早速おもちゃつき。高学年の児童は一人で、低学年の児童はおじいちゃん・おばあちゃんと一緒にきねをにぎって、おもちゃつき上げました。毎年行ってきた「異世代間のふれあい交流」は、今回で十回目。そして、これが最後の交流となりました。参加した寿学級生たちは、児童とおもちを食べながら思い出を語り合い、校舎との別れを惜しんでいました。

移行の準備も着々と

岩室小学校と間瀬小学校では、統合がスムーズに行われるようにと、その準備を進めています。両校の五年生は今年二月に行われる「金管バンドの



▲猛特訓の成果…

移杖式」に向けて、毎週木曜日に合同で練習を行っています。

とくに、間瀬小学校の児童は、金管楽器の練習を本格的に開始したのが今年に入ってからということで、練習日以外にも猛特訓。その甲斐あって、取材に訪れた先月八日は初めて全体練習の日だったのですが、みんな「岩室音頭」を上手に演奏していました。